

**平成 22 年第 3 回七戸町議会  
決算審査特別委員会  
会議録（第 2 号）**

○招集月日 平成 22 年 9 月 1 日  
○開会日時 平成 22 年 9 月 8 日 午前 10 時 00 分  
○延会日時 平成 22 年 9 月 8 日 午前 10 時 52 分

**○出席委員（15 名）**

|     |           |      |           |
|-----|-----------|------|-----------|
| 委員長 | 二ツ森 圭 吉 君 | 副委員長 | 盛 田 恵津子 君 |
| 委員  | 附 田 俊 仁 君 | 委員   | 佐々木 寿 夫 君 |
| 委員  | 天 間 章 八 君 | 委員   | 瀬 川 左 一 君 |
| 委員  | 田 嶋 弘 一 君 | 委員   | 田 嶋 輝 雄 君 |
| 委員  | 天 間 清太郎 君 | 委員   | 原 子 孝 君   |
| 委員  | 川 村 三十三 君 | 委員   | 松 本 祐 一 君 |
| 委員  | 中 村 正 彦 君 | 委員   | 白 石 洋 君   |
| 委員  | 工 藤 耕 一 君 |      |           |

**○欠席委員（2 名）**

|    |           |    |           |
|----|-----------|----|-----------|
| 委員 | 三 上 正 二 君 | 委員 | 田 中 正 樹 君 |
|----|-----------|----|-----------|

**○説明のため会議に出席した者の職氏名**

|                   |           |                        |           |
|-------------------|-----------|------------------------|-----------|
| 町 長               | 小 又 勉 君   | 副 町 長                  | 大 平 均 君   |
| 総 務 課 長           | 似 鳥 和 彦 君 | 支 所 長<br>(兼支所庶務課長)     | 米 澤 秀 一 君 |
| 企画財政課長            | 楠 章 君     | 税 務 課 長                | 花 松 了 覚 君 |
| 町 民 課 長           | 澤 田 康 曜 君 | 社会生活課長                 | 森 田 耕 一 君 |
| 健康福祉課長            | 田 中 順 一 君 | 会 計 課 長                | 天 間 勤 君   |
| 農 林 課 長           | 神 山 俊 男 君 | 新幹線建設対策課長              | 八 嶋 亮 君   |
| 新幹線建設対策課<br>推 進 監 | 瀬 川 勇 一 君 | 建 設 課 長                | 米 田 春 彦 君 |
| 商工観光課長            | 米内山 敬 司 君 | 上下水道課長                 | 天 間 一 二 君 |
| 城南児童館長            | 向中野 良 一 君 | 教育委員会委員長               | 中 村 公 一 君 |
| 教 育 長             | 倉 本 貢 君   | 学 務 課 長                | 附 田 繁 志 君 |
| 生涯学習課長            | 鳥谷部 宏 君   | スポーツ振興課長               | 小 原 信 明 君 |
| 中央公民館長            | 二ツ森 政 人 君 | 南 公 民 館 長<br>(兼中央図書館長) | 櫻 田 明 君   |

|            |          |             |         |
|------------|----------|-------------|---------|
| 農業委員会会長    | 佐藤 午之助 君 | 農業委員会事務局長   | 木村 正光 君 |
| 代表監査委員     | 野田 幸子 君  | 監査委員事務局長    | 佐野 尚 君  |
| 選挙管理委員会委員長 | 松下 喜一 君  | 選挙管理委員会事務局長 | 澤田 康曜 君 |

---

○職務のため会議に出席した事務局職員

|       |        |         |         |
|-------|--------|---------|---------|
| 事務局 長 | 佐野 尚 君 | 事務局 次 長 | 築田 政光 君 |
|-------|--------|---------|---------|

---

○会議を傍聴した者（２名）

---

○会議の経過

○委員長（ニッ森圭吉君） おはようございます。

ただいまの出席委員は１４名で、定足数に達しております。

したがいまして、決算審査特別委員会は成立いたしました。

これより、本日の会議を開きます。

本日の審査日程及び本委員会における説明員は、お手元に配付したとおりです。

お諮りします。

本委員会の傍聴を許可したいと思います。

これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と全員呼ぶ）

○委員長（ニッ森圭吉君） 御異議なしと認めます。

したがいまして、傍聴を許可することに決定いたしました。

ただいまから、決算審査に入りますが、質疑に入る前にお願いいたします。

本日は、一般会計歳入歳出決算書の歳出８款土木費まで終わりたいと思いますので、御協力よろしくをお願いいたします。

なお、御質問される委員にお願いいたしますが、御質問の際、質問箇所のページ、科目等をお示しの上、御質問くださるようお願いいたします。

初めに、平成２１年度七戸町一般会計歳入歳出決算書の審査に入ります。

質疑は、歳入歳出事項別明細書により行います。

歳入から行います。

５２ページ、１款１項町民税から、６４ページ、１２款２項手数料まで発言を許します。

（「なし」と全員呼ぶ）

○委員長（ニッ森圭吉君） 次に、６４ページ、１３款１項国庫負担金から、７２ページ、１４款１項県負担金まで発言を許します。

（「なし」と全員呼ぶ）

○委員長（ニッ森圭吉君） 次に、７２ページ、１４款２項県補助金から、８０ページ、１６款１項寄附金まで発言を許します。

（「なし」と全員呼ぶ）

○委員長（ニッ森圭吉君） 次に、８０ページ、１７款１項基金繰入金から、８８ページ、２０款１項町債まで発言を許します。

（「なし」と全員呼ぶ）

○委員長（ニッ森圭吉君） 次に、歳出に入ります。

９２ページ、１款１項１目議会費から、９８ページ、２款１項４目財政管理費まで発言を許します。

6 番。

○委員（田嶋弘一君） 総務管理費、94 ページ、行政改革の担当課は総務課長かと思います。そこで、今まで5年間、集中プランでやってきたと思うのですが、できなかったこと、それで、これからそれをどのようにするかということです。それから、本来、決算で聞くべきことなのですが、最終的な課の数をこれからどのようにするかということをお聞きします。行革では、我々は、来年度に向けてさらなる改革ということで、16名というふうに行革にかなりの協力をしていると思いますので、総務課のほうの今までの経過と今後の課について、どのようにしていくのかお聞きいたします。

○委員長（二ツ森圭吉君） 総務課長。

○総務課長（似鳥和彦君） それでは、お答えいたします。

17年度から21年度まで、第一次行革を行ったわけですが、その中でできなかったことということでございますが、まず一つは、合併前、両町、たくさんの施設がございまして、その施設の見直し、第一次行革では、その施設を一つにできるところは一つにするとか、そういう部分を盛り込んでおりましたが、その部分はなかなか住民の感情とかいろいろございまして、やれる部分はやってきたわけですが、やれない部分もまだ残っているということでございます。

あと、課の数、これは職員の数にも関係してくるわけですが、課の数に関しましては、大分、合併当初に比べて課も少なくなってきたてはおりますが、第一次行革で掲げております課よりは、まだ若干多いという部分は確かにございます。ただ、職員の状況を見ますと、非常に仕事の内容也多岐にわたってきておりますし、なかなか事務の移譲とかも出てきておりますので、どのくらいにすればいいのかというのは、第二次行革でじっくりと検討して進めていきたいと思っておりますし、施設の部分に関しましても、第二次行革で住民の必要な部分というのもあるかと思っておりますので、その辺を考慮しながら検討していきたいと考えております。

以上でございます。

○委員長（二ツ森圭吉君） 6 番。

○委員（田嶋弘一君） なぜ私がこれを聞いたかという、前にも聞いて、大変聞きづらい話だったのですが、このたびは、総務課長は異例の早さといえ変な言い方になりますけれども、これから28のことを考えて20名という退職の話も聞きました。総務課長は、ことしから含めて3年、大丈夫かなと思うのですが、その3年間の間にやるべきことをちゃんとやらないでといえ変な言い方になりますけれども、後輩のことを考えれば、すべきことを前倒ししてもやらなければならないと思います。残されてきたものは、住民感情という話ですが、その住民感情に関しても、お互い合併して今までたったことであります。それで、私、いろいろ見てきたら、総務課長言わなくてもわかると思います。残された部分、やれなかった部分は、ほとんど合併前にやってこなかった。審議するという話でしたけれども、その審議も5年たちました。ある程度、住民に言って

改革してほしいなど、私はそのように思ったことで聞きました。

それと、なぜ課がどうのこうのと聞いたのも、これから児童館なりも新しく建てて、二つを一つにするか、いろいろな形になっていくと思います。そのことを考えれば、まずこれも業務委託みたいな感じになっていくと思うのですよ。そのプランをしっかりとやって、できればあなたですべて終わらせてほしいなど、後輩のためにも、そのように思ったのでお聞きしました。できれば1年後、2年後と、もうあらかた終わって10年たった現在を見たいなど、そのようなつもりでおたくに聞きました。

以上です。

○委員長（二ツ森圭吉君） ほかにございませんか。

（「なし」と全員呼ぶ）

○委員長（二ツ森圭吉君） 次に、98ページ、2款1項5目財産管理費から、104ページ、2款1項9目諸費まで発言を許します。

2番。

○委員（佐々木寿夫君） 101ページ、企画費の委託料13、それからその下の16と、これはきのう白石議員も説明していましたが、七戸町の牧場に向かってつつじが両側にあって、すごく春いいのですよね。多分、新幹線をおりたお客さんが来ても、あの通りを見ていくと本当に感動すると思うのですよ。ところが、途中からばたっと片側になると。それで、私の記憶がちょっと定かではないのですが、今、北側を植えていないのですが、あれは最初に福士町長が説明したときには、北側も植えて一緒にやるというふうに私は理解していたのですが、その辺はいかがでしょうか。

○委員長（二ツ森圭吉君） 企画財政課長。

○企画財政課長（楠 章君） お答えいたします。

当初の計画で、いわゆるつつじロードの整備の当初の計画では、両側にすべて植栽をしたいということの内容でスタートをいたしました。その中で、奥羽牧場さんとさまざまな管理等で協議をする中で、どうしても、今、植栽が残っている部分については、実際に家畜の使用がなされているエリアだということで、今までも山菜をとる方々が大変入るというふうなことで、入ってくると困るというふうなことで、看板等を設置して呼びかけてきたのだけれども、なかなか守っていただけないということで、その部分については今後の状況を見ながら検討をしたいというふうなことが強く出されました。

我々としても、無理押しをしてまでも、牧場さんのほうの意向というのもわかりますし、共存・共栄でぜひとも整備したいというふうなところも、最終的には町長からも了解をいただいて、その部分については植栽をして、お客様の入り込みとかその辺の様子を見ながら、再度検討をさせていただくということで、あの部分についてはことしまでの間では、その部分については残しているということでございます。

以上です。

○委員長（二ツ森圭吉君） 2番、再質問を許します。

○委員（佐々木寿夫君） 今、大体の進行の状況や、そうすれば、最初に多分両側にいいと言ったのが、途中から向こうのほうの態度が変わったというふうに私には理解されるのですよね。そうすると、それはなぜかということと、それから、大体、奥羽牧場が七戸町に対して余り協力的ではない感じがするのですよ。例えば、私たち町民にとっては、三浦山という山などは大変思い出の深い山で、あの三浦山という山は遠足などではあそこにみんな行った思い出の山なのですよね。あれも一切入れなくしているのですよね。だから、奥羽牧場自体が町に対して余り協力的ではないという感じを持っているものですから、例えば今の場合でも、最初にたしか議会ではいいと言ったときには、多分、向こうもいいと思っていたのですが、途中から変わったのは、これはどういうわけでしょうか。

○委員長（二ツ森圭吉君） 企画財政課長。

○企画財政課長（楠 章君） 最初からすべてを、維持管理等も含めて、すべて整ってから計画ということでは、恐らくなかったということがこういう結果になったと思われます。ただ、不幸にも、宮崎県から出た口蹄疫等のああいふ状況を見たり聞いたりしますと、牧場側の、特に現場の直接飼育等管理をされている方々から、総務課のほうへもう少し様子を見てからというふうな意見が出された。私どもも、何回も交渉に出向きましたけれども、現場の担当の方々からは、そういう伝染病が流行すると、すべての家畜がだめになってしまうおそれがあるというところから、我々としてもそれを無理押ししてまでもというふうなところもございましたので、それについては先ほども申しましたように、実際に植栽をして、お客様がどの程度入り込みがあつて、または、立ち入り禁止区域に入らないという規制が守られるかどうか等も含めて、もう少し様子を見たいというふうなことで、それについては我々も了承したという経緯がございますので、その点は御了解をいただきたいと思います。

それから、三浦山の件についてと、それから、牧場側が協力する意思がないのではないかというお話もありましたけれども、三浦山については私も最初、ちょっと知らない部分があつて、そういうお話が出てから、私も現地のほうへ出向きました。その当時の経緯も旧七戸の方々からお聞きしましたけれども、当初、開放されていたときには、たくさんの子供たちが遠足とか、それから一般の方々も訪れて、山頂部分にはあずまやも整備されて、確かに一つの憩いの場所であつたろうと、私もそういうふうに感じています。ただ、無料開放といいますか、自由に利用させていたのを、不心得の者もあつたようで、ちょっとした事件といいますか、そういうふうなものもあつて閉鎖したのではないかというお話も伺っています。先ほども出ましたけれども、牧場側が非協力的ではないかというお話でしたけれども、そういう事情も含めてのこういうやり方だというふうに私は理解しておりますので、必ずしも非協力的だとかというふうなことではないであろうというふうに思っています。

以上です。

○委員長（二ツ森圭吉君） 2番委員の再々質問を許します。

○委員（佐々木寿夫君） 先ほど、口蹄疫の話をしたのですが、植栽するのは、あれは口蹄疫が出る前の話ですから、それから、多分、山菜をとるために立ち入るでしょう。それは、つつじの植栽とは関係ない話なわけなのですが、そういうことはさておいて、とにかく一日も早くつつじが植栽されて、あの両側が何キロと続く見事な道路にさせていただくように、よろしくお願いいたします。

以上です。

○委員長（二ツ森圭吉君） ほかにございませんか。

6 番。

○委員（田嶋弘一君） 先ほど一つ忘れたのと、委員長から再々と聞かれれば、これで終わりかなというふうに感じるのですが、決算特別委員会は何回も言っているという私の記憶ではそういうふうになっているのですけれども、よろしいですか。

○委員長（二ツ森圭吉君） 会議規則第 55 条によって、3 回になっています。

6 番。

○委員（田嶋弘一君） 同じ箇所を聞くことはできるのですか。

○委員長（二ツ森圭吉君） まだいいですよ。6 番どうぞ。

○委員（田嶋弘一君） お言葉に甘えて。103 ページ、2 款 1 項の交通路線維持費補助金、ここは予算から見れば半分に減額されているのと、それから、今後、駅からのバスのことを考えると、ふえていくような気配を感じるのですけれども、十和田観光、下北観光とかという形で援助をする考えなのか、それとも、私たちは何もしなくてもそれでいいのかをお聞きいたします。

○委員長（二ツ森圭吉君） 企画財政課長。

○企画財政課長（楠 章君） まず、交通路線維持費の補助金のことについてお答えしたいと思います。十和田観光電鉄さんでは、路線バスとして七戸町内を經由してバスの運行がなされてございます。ただ、御多分に漏れず、乗車率、乗車人口が年々減っているということで、補助金の増額が今まで図られてきました。十和田観光電鉄さんでは、今までの債務を一たん整理して、新たな体制でもって出発したいというふうなことで、20 年度は倍近い補助金の額になりました。これは、いわゆる退職手当の積み増しと、十鉄さんから言わせると支払い等、それから維持経費の精算で、一時的に 20 年度は今の 21 年度の 1,200 万円の倍、2,000 万円余りの補助金となりましたけれども、20 年度でその処理が終わったということで、21 年度からは通常の路線バスの維持経費の部分での補助ということになりました。

あと、七戸十和田駅開業後の路線に対する補助については、運行の実態を見てみないと、どの程度の運行に対する赤字といいますか、経費率が出てくるのか、その辺については運行の実態を見てからでないと判断できませんけれども、今までも路線バスの維持については補助を重ねてきたということもありますので、今後、十鉄さん側と十分その辺も協議をさせていただきながら、最終的な判断を上司からいただくということになるかと思ひ

ます。

以上です。

○委員長（二ツ森圭吉君） 6 番。

○委員（田嶋弘一君） 今のお話だと、十鉄さんだけの話なのですが、例えば下北のほうから来るバス、野辺地を通して来るバスの場合も、やはり十和田観光 1 本の考えで交渉していくのですか。

○委員長（二ツ森圭吉君） 企画財政課長。

○企画財政課長（楠 章君） 七戸十和田駅が開業後の路線バスの運行については、具体的に十鉄さん意外からは、まだお話はございません。下北方面も参入の運行の意向はあるやには聞いておりますけれども、実際にきのう新幹線の時刻が発表になりましたので、具体的に事業者さんのほうでそれに合わせた運行の計画がなされて、発表になって、実際に運行するというふうになれば、当然、片方だけということではありませので、その辺については県等にも御指導いただきながら協議の必要が出てくる可能性はあるかと思ひます。

以上です。

○委員長（二ツ森圭吉君） 6 番、再々質問を許します。

○委員（田嶋弘一君） 私は、必要性があるかと思ひますではなくて、かなりあると思ひます。新聞の報道ですと、下北、陸奥が七戸十和田に 1 2 本ということで、かなりショックがあったというふうに新聞に報道されています。そういうことを考えると、うちのほうからも出向いて、向こうから来るのではなくて、こっちから出向いていくという考えはないのですか。

○委員長（二ツ森圭吉君） 町長。

○町長（小又 勉君） これは、七戸町だけのことではありません。県の交通政策課が主体になって、下北方面、あるいは十和田市方面、そちらのほうからの路線バスの乗り入れとか、そういったものについてはいろいろ協議をしております。ただ、町としても、下北交通、それから J R バスの下北営業所には、何回か出向いて路線の設定といひますか、そういったものはお願いをしております。ですから、具体的にそういうのになると、県のいろいろな補助金というのも入ってくるというふうに思ひます。それにあわせて、町も今度はどうするのかが、これから具体的な検討になるというふうに思ひていますが、恐らくきのうのダイヤ発表で、これから具体的に動いてくると思ひます。

○委員長（二ツ森圭吉君） ほかにございせんか。

（「なし」と全員呼ぶ）

○委員長（二ツ森圭吉君） それでは、次に 1 0 4 ページ、2 款 1 項 1 0 目土地利用対策費から、1 1 0 ページ、2 款 1 項 1 6 目定額給付金給付事業費まで発言を許します。

（「なし」と全員呼ぶ）

○委員長（二ツ森圭吉君） 次に、1 1 0 ページ、2 款 1 項 1 7 目新エネルギー対策費か

ら、114ページ、2款第1項19目地域活性化きめ細かな臨時交付金事業費まで発言を許します。

2番委員。

○委員（佐々木寿夫君） 110ページ、新エネルギー対策について伺います。新エネルギー対策事業として633万2,348円お金を使っているわけですが、この新エネルギー対策は、やってみて効果のほどはいかがでしょうか。

○委員長（二ツ森圭吉君） 企画財政課長。

○企画財政課長（楠 章君） お答えいたします。

この計画については、平成19年度に新エネルギー計画を策定させていただきまして、それに基づいて、この21年度については、NEDOからの600万円の補助金をいただきまして、特化した重点項目としてどういうふうなものかというところを、もっと細かく調査をかけて、その進むべく方向を見出したいということの、いわゆる計画の策定のために要した経費でございます。ですから、その計画に基づいて、22年度以降、それらの計画の中に基づいた項目を実施すべく、補助金をいただけるものについては補助申請をしたりして、22年度から取り組むと。そのための基礎となる調査を実施したということでございます。

○委員長（二ツ森圭吉君） 2番委員、再質問を許します。

○委員（佐々木寿夫君） そうすれば、これは計画を立てるために使ったお金だということで、あのてん菜の栽培とこれは関係ないのですか。

○委員長（二ツ森圭吉君） 企画財政課長。

○企画財政課長（楠 章君） バイオ関係の部分については、これとは別に農林課サイドでその計画の実施をやってございますので、詳しい内容については農林課サイドということになります。

○委員長（二ツ森圭吉君） ほかにございませんか。

2番委員。

○委員（佐々木寿夫君） 113ページ、委託料、ICTシステム構築、そこに三つあるのですが、このことについて、前の議会の一般質問でも私が話したと思うのですが、あそこの町の道の駅、そして物産館、そして七彩館と、あそこにいろいろなが並んでいるのですが、本当にこれはきちんと使われている場所と、全然電気のスイッチも入っていないし、片づけているところもあるのですよね。だから、4,000万円近くのお金をかけてやっているのですが、新幹線が開業すれば本当の効果がでてくると思うのですが、今のところ、これについては本当に効果があったのか、私は疑問に思っているのですが、その辺についてお話をお伺いしたいと思います。

○委員長（二ツ森圭吉君） 企画財政課長。

○企画財政課長（楠 章君） お答えいたします。

まず、今のところ、まだ連結はされておられません。今まで、さまざまな情報の、いわゆ

るタッチパネル方式とかさまざまな方式、その施設に合ったやり方を導入するということで、機材がまず違います。それから、使い勝手、今まで設置をして、その施設単体だけの利用だったのですけれども、施設を訪れた方々に直接利用していただいて、こういうふうなところがまずいとか、こういうふうなのがあればいいのにねというものを、私どもでは取りまとめをいたしまして、委託先である弘前市のビズコムという会社ですけれども、そこに連絡をして、今までそういう内容の修正を重ねてまいりました。

今、実際、形としてできましたので、今後、その各施設の機材を連結する作業に入ります。そうなれば、また使い勝手が全然違ってくると。今までは、ただそこにぽんと置いて、そこだけの利用しかできなかったということなのですから、今後、連結をして、どこからでもそういう情報が自分たちで、例えば、産直の施設の新しい情報を入れれば、観光交流センターのお客さんも見れるというふうな使い方が今後出てきますので、今のところ、まだ各施設間の機材を連結していないものですから、そういう使い方しかできなかったということで、今後は格段に利便性が増してくると、こういうふうに思っております。

以上です。

○委員長（二ツ森圭吉君） ほかにございませんか。

5 番委員。

○委員（盛田恵津子君） 113 ページの 1 項 18 目の 15、工事請負費、その中の集会場等下水道接続工事費とありますけれども、これはどこの集会場を指しているのでしょうか。どのような工事をしたのか教えてください。

○委員長（二ツ森圭吉君） 企画財政課長。

○企画財政課長（楠 章君） 天間林地区の中で、まだ下水道の整備がなされていなかった区域、ほとんどがそうなのですが、今やっているところはこの役場周辺、あるいは天間館地区のほうへ下水道の整備の工事が入っていますけれども、その際、整備がされていなかったものですから、その連結がなされていなかったということで、下水道の整備がなされたことに伴って、集会施設とその本館を連結するための工事を実施したということで、ここに具体的にどこどこというのは資料がないのですけれども、4カ所程度だったかと思います。とにかく、本館が整備されたところのある施設を連結したと、そのための工事をしたということでございます。

○委員長（二ツ森圭吉君） 5 番委員。

○委員（盛田恵津子君） 天間林地区のほうの集会場は、たしか町のほうの管理かと思いましたが、七戸地区のほうの集会場は各町内会が維持管理をしております。そうしますと、今後、例えば七戸地区のほうの集会場が下水道を設置したいというときには、何らかのこのような補助をする考えはありますか。

○委員長（二ツ森圭吉君） 企画財政課長。

○企画財政課長（楠 章君） 私どもが管理しているのは、いわゆる公的な施設のみでござ

ございますので、役場でやっている以外のものについては、直接的には上下水道課がどういうふうなやり方をするのか、その辺は私のところでは答えかねますので、御容赦をいただきたいと思います。

○委員長（二ツ森圭吉君） 5番委員の再々質問を許します。

○委員（盛田恵津子君） かねがね思っておりましたけれども、この件に関しては、七戸地区と天間地区のかなりの差がございます。今後の町の方針としては、天間林地区の公的な施設、集会所、コミュニティー施設等を含めて、七戸地区のほうにも配慮していただくよう、今後検討していただきたいと思います。要望です。

○委員長（二ツ森圭吉君） ほかにございませんか。

（「なし」と全員呼ぶ）

○委員長（二ツ森圭吉君） 次に、114ページ、2款2項1目賦課徴収費から、124ページ、2款6項1目監査委員費まで発言を許します。

（「なし」と全員呼ぶ）

○委員長（二ツ森圭吉君） 次に、124ページ、3款1項1目社会福祉総務費から、128ページ、3款1項4目老人福祉費まで発言を許します。

（「なし」と全員呼ぶ）

○委員長（二ツ森圭吉君） 次に、128ページ、3款1項5目老人福祉施設費から、132ページ、3款1項10目後期高齢者医療対策費まで発言を許します。

（「なし」と全員呼ぶ）

○委員長（二ツ森圭吉君） 次に、132ページ、3款2項1目児童福祉総務費から、138ページ、3款2項6目子育て応援特別手当事業費まで発言を許します。

（「なし」と全員呼ぶ）

○委員長（二ツ森圭吉君） 次に、138ページ、4款1項1目保健衛生総務費から、146ページ4款1項10目省エネルギー対策費まで発言を許します。

（「なし」と全員呼ぶ）

○委員長（二ツ森圭吉君） 次に、146ページ、4款2項1目じんかい処理費から、152ページ、6款1項5目農地保有合理化事業費まで発言を許します。

（「なし」と全員呼ぶ）

○委員長（二ツ森圭吉君） 次に、152ページ、6款1項6目農業総務費から、156ページ、6款1項9目農産物加工研修等施設費まで発言を許します。

6番委員。

○委員（田嶋弘一君） 152ページの19節、一番下、この猟友会のことですが、この補助金というのは2団体なのですか。町一つになっているのですか。

○委員長（二ツ森圭吉君） 農林課長。

○農林課長（神山俊男君） お答えします。

七戸猟友会、天間林猟友会の2団体となっております。

○委員長（二ツ森圭吉君） 6 番委員の再質問を許します。

○委員（田嶋弘一君） この件ですけれども、どちらの地区かわからないのですけれども、猟友会で町長杯というのが行われているということなのですから、この中から猟友会の町長杯をやっているのですか。

○委員長（二ツ森圭吉君） 農林課長。

○農林課長（神山俊男君） この猟友会補助金 11 万円のことに関連するかと思いますけれども、町では双方の猟友会に同額 5 万 5,000 円を補助金として、活動費として交付しております。その中身というのは、町長杯の分としてどういうふうに経理しているかというのは、把握していない状態です。

○委員長（二ツ森圭吉君） 6 番委員の再々質問を許します。

○委員（田嶋弘一君） 一応、町長杯という名前でやっているのですけれども、町長それに出席しているのですか。

○委員長（二ツ森圭吉君） 町長。

○町長（小又 勉君） 大変申しわけないのですけれども、新聞で見まして、私もその実態はちょっとわかりませんでした。今、補助金を交付して、中身を把握していないということですので、その使途といいますか、その報告、これは速やかにしてもらおうということで、その中身の状況をこれから把握したいというふうに思っております。

○委員長（二ツ森圭吉君） ほかにございませんか。

（「なし」と全員呼ぶ）

○委員長（二ツ森圭吉君） 次に、156 ページ、6 款 1 項 10 目畜産業費から、164 ページ、6 款 2 項 3 目森林整備地域活性支援交付金制度事業費まで発言を許します。

2 番委員。

○委員（佐々木寿夫君） 162 ページ、農村農業体験等交流推進事業費についてお伺いいたします。19 節のあおりカムカム農村漁村ネットワーク負担金、あるいは、グリーンツーリズム推進事業費補助金とあるのですが、このグリーンツーリズム推進事業費補助金の実績はどうかということ。昨年度との比較などで説明をお願いいたします。

○委員長（二ツ森圭吉君） 農林課長。

○農林課長（神山俊男君） グリーンツーリズム推進事業費補助金、これはかだれ天間林で農家民泊、それから小学生、中学生の農業体験に関連した事業を行っている団体でありますけれども、その中で主立った事業の項目をお知らせしたいと思います。

まず、6 月にニンニク収穫体験、それから 7 月 28 日から 30 日まで、七戸町かだれ塾ということで、小学生 5 年生、6 年生、県内から 28 名の農家民泊の農業体験、これを実施しております。また、10 月にはリンゴ収穫体験、それから、1 月にはホワイトバトルと絡めまして、かだれ雪国体験、こういう主立った事業を実施しております。

それで、参加者の広報、PR、募集にも、ホームページ、小学校へのチラシの送付とか、七戸町内を優先して、その後、県内の小学校にお知らせするという手法をとっており

ますけれども、数は一気に伸びることはありませんけれども、少しずつですけれども、数%台かとは思いますが、若干ずつは伸びてきている現状でございます。

○委員長（二ツ森圭吉君） 2番委員の再質問を許します。

○委員（佐々木寿夫君） 大変工夫して行われ、数%ずつ伸びているということで、かなり安心いたしました。このグリーンツーリズムというのは、新幹線の開業等に合わせて、町の将来にかなりかかわる問題ですので、この事業のさらなる発展を期待して、これからもしっかり取り組んでいただきたいと思います。

以上です。

○委員長（二ツ森圭吉君） ほかにございませんか。

（「なし」と全員呼ぶ）

○委員長（二ツ森圭吉君） 次に、164ページ、7款1項1目商工総務費から、168ページ、7款1項5目公園管理費まで発言を許します。

（「なし」と全員呼ぶ）

○委員長（二ツ森圭吉君） 次に、168ページ、8款1項1目土木総務費から、174ページ、8款3項1目河川維持費まで発言を許します。

2番委員。

○委員（佐々木寿夫君） 173ページの工事請負費の道路維持修繕工事費のところでお伺いいたしますが、鳥谷部から疋に向かっている道路で、途中から底田に行く高井名の道路があるのですが、これが例年、修理したり壊されたりしているわけですよ。ここのお金は、まず、その道路の補修に使われたかどうかを伺いたいと思います。

○委員長（二ツ森圭吉君） 建設課長。

○建設課長（米田春彦君） 一部入っておりますが、今、底田の部分にかかったお金というのはちょっと把握しておりませんので、後で報告したいと思います。

○委員長（二ツ森圭吉君） 2番委員。

○委員（佐々木寿夫君） このお金は、この修理は過去2年ぐらいにわたって行われているのですが、当然、個人が壊した土地を町で修理しているわけで、このお金については現在のところ、本人から町のほうにお金は入っていますでしょうか。

○委員長（二ツ森圭吉君） 町長。

○町長（小又 勉君） この件については、今までもいろいろ御質問ございました。実は、法的に非常に本人の主張と町が把握している実態と合わない部分もあります。実は、法の専門家、いわゆる大学の先生、そちらの専門の方に今相談をしております。それを踏まえて、弁護士との協議もして、その辺の責任の所在をはっきりした時点で方向性をはっきり決まるというふうに思っています。非常に本人の申し出と、町が認識しているといいですか、その辺の違いがあるということで、間違いがあってはならないと、確認を確認をして、そちらの結論が出次第、もし必要とあれば法的に請求をしたりということになるかと思いますが、その辺までもう少し時間がかかると。今、その協議の最中ということであ

ります。その辺で、ひとつよろしくお願ひしたいと思います。

○委員長（二ツ森圭吉君） 2番委員の再々質問を許します。

○委員（佐々木寿夫君） 再々質問が、今度は別な問題です。今と同じページです。工事請負費に入るのかな、173ページです。13か16に入るのですが、小川町の水があふれて、昨年、久保商店の前と保健センターの前のあたりを拡張したのですよね。そして、さらに途中の雪の滑りが悪いところに対しては、アルミの非常に雪の通りがよくするようなのを敷いてやったのですよ。ところで、その効果のほどはいかがでしょうか。

○委員長（二ツ森圭吉君） 農林課長。

○農林課長（神山俊男君） 去年の担当者でありますので、流雪溝の改造ということで工事させていただきました。それで、一部合流点の断面積を広げるとあわせて、合流点があれば分岐点もあるわけですが、その部分にステンレス板を張って工事を終えたのですけれども、20年度よりは工事を実施した後、流雪の流れはスムーズになったのかなという、あふれる件数の少ない部分から判断でございますけれども、ある程度効果をあらわしているものと思っております。

○委員長（二ツ森圭吉君） 2番委員。

○委員（佐々木寿夫君） 確かに下町のほうは上がらなくなっているのですよ。だから、効果があるなと思っているのですが、どうしても小川町は上がるのですよね。ただ、去年上がったのは、雪の降り始めて工事の最中であつたから、効果のほどが本当に出るのはことしかなと思っているのですが、この効果のほどがなかったら、さらに水があふれて床下流れてきたところもありますから、そういう場合には早急にまた手を打っていただきたいということを要望します。

○委員長（二ツ森圭吉君） ほかにありませんか。

（「なし」と全員呼ぶ）

○委員長（二ツ森圭吉君） 次に、174ページ、8款4項1目都市計画総務費から、180ページ、8款5項2目住宅建設費までの発言を許します。

（「なし」と全員呼ぶ）

○委員長（二ツ森圭吉君） お諮りします。

本日の委員会はこの程度にとどめ、あしたに延会したいと思います。

これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と全員呼ぶ）

○委員長（二ツ森圭吉君） 御異議なしと認めます。

したがいまして、本日の委員会はこれをもって延会することに決定いたしました。

なお、あすの委員会は、午前10時に再開いたします。本席から告知します。

本日は、これをもって散会します。

御苦労さまでございました。

散会 午前10時52分